

「クリティカル・シンキングセミナー」を受講しました

弊社スタッフは、2019年6月18日に「骨太社員になるためのクリティカル・シンキングセミナー」を受講しましたので、ご紹介させていただきます。

講師は(株)日本人財研究所の川合由美子氏、会場は南都商事本社新大宮セミナールームでした。

「クリティカル・シンキング」とは、自ら本質的な課題に気づいて分析し、最適な解決策を導き出す思考法で、何事も無判断に信じたり、先入観や過去の経験に囚われず、自分の頭で根拠や筋道を検討しながら、論理的な判断を行うための考え方、考える方法のことのようです。

本セミナーは個人ワーク、グループディスカッション、ミニ・ケーススタディ、事例研究等を交えた講義で、新たな気付きも得られ、大変勉強になりました。

ディスカッションでは、5人のグループに分かれ、リーダー、書記、発表者など決めて進めました。

現在は多様化、複雑化の時代で、これまでのカンや経験だけに頼ってはいは、妥当な結論は導くことができませんし、周囲の納得や合意を得られないようです。また、相手の強い語調や断定的な言い方に気圧されて同調してしまうと、誤った結論に誘導されてしまうこともあるそうです。

さらに、論理的に考えたつもりでも、思い込みで論理の飛躍が入ったり、誤った前提を置いたり、短絡的な原因分析・対策をした結果、せっかくの努力も無駄になることにもなるようで、

- 1) 前例や伝統的・権威的な意見、思い込みによらず合理的に考えること
- 2) 一つの答えに対して、「なぜ、そうなのか」「それはどんな意味か」「現状はどうなっているのか」「今、何を考える必要があるのか」「他に方法はないのか」「本当にこれでいいのか」等を常に検討することにより、妥当性、納得性のある結論にスピーディに導くことができるそうです。

「骨太社員（クリティカル・シンガー）の心構え」

- 1. なんでもそのまま信じず、疑う習慣をつける
 - 2. 自分が間違えたと思ったら立場を変えるのをためらわない
 - 3. 聞き手として：「思いやりの原理」を持つ
 - 4. 話し手として：「協調の原理」を持つ
 - 5. 迷ったら、常に目的に立ち返る（何をいつまでに目指すのか）
- 私も「5つの心構え」を持ち、業務等に励みたいと思っております。



(セミナーエントランス)

(セミナーの案内書)



(歯科衛生士、第二種歯科感染管理者、健康管理士 上牧左右子)